



# つなぐ手 気仙

学校教育目標

かしこく（本気）

やさしく（優気）

たくましく（元気）

## 私たちの大切な“いのち”“えがお”を守る (1学期の防災学習特集)

東北北部を除いて梅雨が明けたはずなのに、日本各地を大雨が襲い、各地に被害をもたらしています。当市でも、避難指示が出ました。幸い大事にならなかったのは幸いでした。大きな地震も頻発しており、先日は新しい津波浸水想定も発表されました。東日本大震災級の津波の発生確率も発表になっています。

そんな中でも子供たちが笑顔でたくましく生き抜くことができるよう、生きる力を伸ばしていくことが学校の大きな役割だと考えています。

最も大切なのは、この世に一つしかない「いのち」を守ること。本校では、学校教育の根本に『復興教育』をおき、その重点に「防災教育」をおいています。

### 登下校時の安全確保のために（全校）

## 登校時避難訓練



6月28日（火）登校時の津波を想定した。多くの子が集団登校途中であった7時30分、大きな地震が発生し、続いて大津波警報が発令されたとの想定です。

集団登校の子供たちは、班長の指示のもと、指定された避難場所へ一目散に避難し、点呼で班員の安全確認し、大人が学校に連絡しました。

その後は体育館で反省会。もしもの時、自分で避難できるようになったかな。



### 海での安全確保のために（全校・高学年）

## 海の安全教室・着衣泳



7月14日（木）、釜石海上保安部の方々を講師とした「海の安全教室」を行いました。海で安全に楽しく遊ぶために4つの約束をしました。

- 1 泳ぐ前には準備運動をしっかりとやる。
- 2 必ず大人と一緒に海水浴場に行く。
- 3 足がつかない深い場所では泳がない。
- 4 天候が悪い時は海に行かない。

また、「離岸流」のことも教えてもらいました。

次の日は5・6年生が着衣泳の授業を行いました。



海では安全に楽しくすごそうね。

津波が来た時の避難場所は?(高学年)

## 逃げ地図作成

6月24日(金)登校時避難訓練に向けて、高学年で「逃げ地図づくり」を行いました。津波避難場所へ避難するまでの時間を道路上の色分けで表した地図です。実際の地図づくりは四苦八苦しましたが、気仙町内の避難場所、及びそのルートをしっかり確認できました。その成果を登校時避難訓練で発揮することができました。



安全な行動はどれかな(2年)

## ぼうさいまちがいさがし

7月13日(水)2年生で「ぼうさいまちがいさがし」の授業を行いました。

架空の町の保育園を想定し、室内にいた時や外へ避難する際の危ない行動・安全な行動を考えました。さすが2年生、みんな活発に意見を言い合い、その根拠もしっかりと話せました。



もしもの時、何を使おうか(5年)

## なまずの学校



地震でタンスが倒れ、人が下敷きになっています。タンスをどけて人を助けるには何を使えばいい?

5月13日(金)さまざまな危機に対して、身近な物で対処しようと、5年生みんなで議論しました。日常使っている物って、けっこう利用できるものです。

避難所、どう運営する(6年)

## HUG(避難所運営ゲーム)

5月23日(月)6年生が、避難所の運営を体験するゲームを行いました。大地震発生後に避難所に避難してきた人や避難民の要望をさばくシミュレーションゲームです。避難民の様々な人な要望に一生懸命答えていくその姿がとても頼もしく見えました。一人一人が少しガマンすることの大切さも学びました。



あの時、何があったのか(3・4年)

## 津波伝承館訪問



7月19日(火)3・4年生14名で「津波伝承館」を訪問しました。展示物や映像などで、東

日本大震災の時の被害の大きさを感じ取りました。そして、「津波てんでんこ」という言葉の本当の意味をしっかりと心に刻みました。



避難リュックの中身は?(1年)

## うしくんとかえるくんのおとぼけ劇場



7月22日(木)1年生教室にうしくんとかえるくんのパペマペコンビが出現。避難時の持ち出しリュックに関するのコントを行いました。その後、11の持ち出し必需品の記憶に挑戦。災害からの避難準備をしておくことの大切さを学びました。

